Tsurumi University Tsurumi Junior College Information Magazine

CN CampusNOW

「大覚円成　報恩行持」　感謝を忘れず　真人となる

No. 95
2019.5.21

発行／鶴見大学
鶴見大学短期大学部
編集／総務課
〒230-8501 横浜市鶴見区鶴見2-1-3
https://www.tsurumi-u.ac.jp

学校法人 総持学園
鶴見大学
　大学院　歯学研究科（博士課程）歯学専攻
　　文学研究科（博士前期・後期課程）
　　日本文学専攻・英米文学専攻・
　　文化財学専攻・ドキュメンテーション専攻
　歯学部　歯学科
　文学部　日本文学科・英語英米文学科・
　　文化財学科・ドキュメンテーション学科
鶴見大学短期大学部
　保育科
　歯科衛生科
　専攻科　保育専攻・福祉専攻
鶴見大学附属中学校・高等学校
鶴見大学短期大学部附属三松幼稚園

CONTENTS

特集

社会で活躍する先輩に聞く
就職の先にあるもの。フロントランナーたちの挑戦

新入生歓迎オリエンテーションで新入生にアピール

研究室探訪　文学部日本文学科　新沢典子教授

学習アドバイザーが皆さんの大学生活をサポート

就職EXPRESS　就職活動年間スケジュール

特 集

社会で活躍する先輩に聞く

就職の先に フロントランナ

社会人として活躍する卒業生に、仕事のこと、大学時代のこざっくばらんに語ってもらいました。
新しい扉を切り拓くために、先輩たちは、何を考え、どう行を切り拓くヒントが隠されているかもしれません。

書籍の企画を通すのにも、高い壁があります。

武山（たけやま） 果生（かお）さん

第一法規株式会社勤務 〈2017年3月文学部日本文学科卒〉

出版編集

出版業界への志望を最後まで貫く

私は法律関連の書籍を出版する第一法規株式会社出版編集局に勤務しています。入社３年目です。所属する編集第四部は一般企業向けの部署で、私は総務や人事担当者向けに単行本を制作しています。

幼い頃から大の本好き、図書館好きで、大学４年間は書店でアルバイトしていたほどです。そのアルバイト先では、自分が興味のある本やおすすめ本のポップ広告を、店長に頼んで手作りさせてもらい、本の売り上げに貢献したこともありました。

大学進学で鶴見大学を選んだ理由も、図書館が美しく、蔵書が充実しており、さらに図書館司書の資格も取得できるということで決めました。

私は、法律や会社の実務関係のことは知識が少なかったのですが、入社と同時にOJT（On the Job Training）研修が始まり、半年間にわたり、先輩編集者がマンツーマンで指導してくださいました。法律のプロでなくても、自分の持ち味を生かせる仕事があることもわかり、目の前の仕事を行いつつ、働きながら経験を積み重ねている段階です。

あこがれの出版業界で奮闘中

現在、６月完成予定の単行本を作成しています。昨年夏の終わりに企画書を提出しましたが、企画が通るまでには、社内でいくつかの高い壁を越えなければなりません。

労働法に関するテーマの本で、総務・人事部配属の新入社員や他部署からの社員に向けたものです。いかに内容を読みやすくするか、著者の先生に難しくない表現での原稿をお願いしたり等、苦労しています。

また「働き方改革」について注目が集まるなか、どんな本が必要とされているのかをいち早く察知して、他社に先駆けて発刊することが求められています。

１冊発刊しても安心している時間はありませんので、今回の反省点を踏まえつつ、新しい企画に早くシフトしていきたいですね。

チャレンジし続けた学生時代

学生時代で思い出すのは、就職活動中、キャリア支援課職員の方に編集プロダクション会社にアポをとっていただき、仕事内容をインタビューしたり、中小の印刷会社の現場を訪ねたりしました。思いつくことは、全て行動に移しました。

全国の図書館や書店で開催するビブリオバトルにも参加したことがあります。「自分のおすすめの本をバトル参加者が１冊ずつ持ち寄り、５分間のプレゼンテーションの後、会場のお客さんに手に取りたい本を投票してもらい順位を競う」という催しです。いま振り返ると、いろいろチャレンジしていましたね（笑）。

自身で行動して経験したことは、この先、無駄にはなりません。採用面接の時も、学生時代の体験談がアピールにつながったものと確信しています。

本の原稿をお願いする方は、人生経験が豊富で法律や実務のプロフェッショナルであり、中には年輩の方もいらっしゃいます。そういう方から教えを受けながらも、仕事となれば対等な関係で向き合わなければなりません。

入社３年目の今年は、コミュニケーション力をつけて、自分の考えや、熱意をしっかり届けて、一人でも多くの読者に喜んでもらえる本をつくっていきたいです。

あるもの。
ーたちの挑戦

と、また実際仕事を始めて感じたことや難しさなどを、

動したのか。その言葉のなかに、明日の自分自身の未来

保育士としての資質や姿勢が問われる２年目です。

彦坂（ひこさか） 典子（のりこ）さん

目黒区立保育園勤務　〈2018年3月短期大学部保育科卒〉

保育士

幅広い世代の先生たちと共に

私が勤める東京都目黒区内にある保育園は、通常朝８時半から夕方５時15分までが勤務時間ですが、早番・遅番があり、シフトを組んで保育士が対応しています。昨年、新人の私は１歳児クラスを受け持ちました。

１年間を振り返ってみると、ようやく毎日の生活のリズムをつくれるようになり、業務に慣れてきて、少しずつ自分の置かれている状況が理解できてきました。しかし、まだまだ自分に足りないと思うことがたくさんあり、先輩の先生方は、私が困っていることを察して声がけをしてくれます。「大変」の原因が何だったのか、対処法はどうあるべきだったのかなど、アドバイスをしてくれます。

そんな毎日の繰り返しですが、自分の至らない部分等を相談できるようになりました。保育士としてさらに成長できるかどうか、資質や姿勢が問われる２年目になります。

保育園で取り組んでいること

遊んでいるなかでは、その子自身が遊びの楽しさを経験することが大切なので、そばにいて「この遊び楽しいね」と共感し、「こういう遊びもあるよ」と伝えてあげることにしています。１歳児だとまだ自分一人の遊びに夢中ですが、２歳児になると子ども同士一緒に遊ぶようになります。

２年目の今年、１歳児の子どもたちをそのまま持ち上がりで担当することになり、その子どもたちを知っているからこそ、いろいろな経験をさせてあげたいと思います。どんどん、遊びのレパートリーを増やしていきたいですね。

周囲の先生方との信頼関係も築いて、より連携を取れるようにしたいです。子どもたちのお昼寝タイムは、先輩や同僚との情報交換の場になっています。

また、さまざまな講座や研修にも参加しています。貴重な学びの機会でもあるので、今後も積極的に参加していこうと思っています。

大学の学びを実践に生かす

鶴見大学短期大学部を選んだのは川崎市出身であるため、自宅から近いことと、短大を卒業し、できるだけ早く社会に出て現場での経験を積みたいと思ったからです。母が公務員（保育士）だったこともあり、長く安定して活躍できる職場であると思い、公務員の道を選択しました。

学生時代の授業で印象的だったのは、子どもたちの心に寄り添うことを大切にされている先生方が多かったことです。保育士の経験がある先生の授業では、経験談を聞く機会が多くありました。その子ども自身に寄り添う方法を、「この子どもは何を考え行動したのか」などの具体的な事例に基づき話してくれました。そのような実践的な講義が、現在の職場で子どもたちの心の中を探っていく場面ではとても役立っているのを実感しています。

私は進路を高校２年の時には決めていました。就職先として公立（公務員）か私立か、保育士か幼稚園教諭かの方向性は早めに決めたほうが良いでしょう。２年間は思っている以上に早く過ぎてしまいます。私は実習の合間に何度もキャリア支援課に足を運び、採用試験の対策を練ってきました。早めの準備をして、自分を信じて、思い描いた夢を実現してください。

どのクラブに入ろうか？

新入生歓迎オリエンテーションで新入生にアピール

キャンパスの桜が満開となった4月6日、新たに鶴見大学・鶴見大学短期大学部の仲間入りをした新入生に向け、課外活動の紹介を行う「新入生歓迎オリエンテーション」が開催されました。

記念ホールでは、紫雲祭実行委員会やボランティア団体を始め、各クラブ・同好会の部長や部員が、活動状況の発表やパフォーマンスを行い、1号館の各教室に設けられたブースでは、写真や資料を見せながら、新入生へ熱いメッセージを語っていました。緊張した面持ちで先輩たちの説明を熱心に聞き入っていた新入生は、終盤はリラックスした表情でオリエンテーションを楽しんでいる様子が見られました。

各団体の説明に真剣に耳を傾ける新入生

競技ダンス部はステージでラテンとモダンを披露

各ブースでは先輩の熱心な勧誘が続きます

スポーツを通して人間的な成長を

初心者が多く、２年生の３人も初心者ですが、経験者が教えて、みんなで技術の向上を目指しています。練習は、ニューツルミゴルフ練習場で週2回行っています。紳士のスポーツといわれるだけに、スポーツマンシップに則って、プレーだけでなくマナーも大切にしています。いろいろな個性が集まった部員は賑やかで、上下の壁もありません。チームの結束や他大学との交流を通して、コミュニケーション力を高め、臨機応変な対応ができることがこのゴルフ部の誇れるところです。

毎年４大会ある歯学系大学の関東連盟の大会に向けて頑張っています。年々大会のレベルは上がっていますが、女子は一昨年の秋大会、昨年の夏大会で団体優勝、個人戦でも毎回入賞、男子も一昨年の団体戦で３位入賞。その上の全日本歯科学生総合体育大会（デンタル）入賞を目指します。

片岡（かたおか） 伶惟（れい）さん（歯学部歯学科4年・写真㊤最前列左から2人目）

練習や紫雲祭で学部を越えて一つに

フットサルの楽しいところは、コートが狭い分スピードがあること。歯学部、文学部、女子チームで構成していて、先輩後輩の垣根を越え、みんな仲がよく、わいわい楽しくやっています。練習は週２回。大会の参加は歯学部の大会が中心です。かつては全日本歯科学生総合体育大会（デンタル）で優勝したこともありました。

昨年は関東歯科大学フットサル交流戦で４位。デンタルで５位。今年はデンタルの主幹校でもあり、表彰台を狙っています。

その他の活動では、チームメートと一緒に、昨年の紫雲祭（出店）でたこ焼きを販売。一般の皆さんに喜んでもらえたことも印象に残っています。OB・OGとの繋がりもでき、大会では他大学との交流もあり、歯科医師として社会に出ても役立ちます。

岡（おか） 純平（じゅんぺい）さん（歯学部歯学科4年・写真㊤最前列左から3人目）

クラブ活動のメリットをパワーポイントで解説する剣道部

会場の空気を変えた吹奏楽部の演奏

研究室探訪

研究室に並ぶ万葉集をはじめとした上代の古典文学を前に研究の面白さを語る新沢典子教授

文学部日本文学科

新沢典子教授

万葉集から見える歴史、人々の姿
揺らぎを理解する知を

新元号「令和」の典拠となり一躍注目を集めている万葉集ですが、新沢典子教授は、万葉集や上代の文学がその後の時代の中でどのように変化していくかをテーマに研究を続けています。表現の変化を丁寧に見ていくと、歴史とともに変わる言葉の意味と、人々の暮らしや価値観の変化が見えてきます。

表現の変化から見えるもの

古典文学研究ではもともと作品がどのような本文によって成り立っているかに関心が置かれてきました。古代日本語最大の資料である万葉集は、８世紀末頃、大伴家持がまとめたと考えられていますが、11世紀以降の写本しか残っておらず、いくら本文をさかのぼっても成立から300年経った時代のものにしか届きません。

万葉集の原典を探る姿勢は江戸時代、国学の隆盛とともに起きたものです。それ以前の歌人たちは原典を正確に伝えることよりも、自分になじみ深い表現を優先し、本文を改変させることも当たり前でした。原典の本文を求めるというよりはむしろ、そうした本文の変化と和歌を取り巻く環境の関わりに興味を持っています。

「私たちは便宜的に奈良時代、平安時代と時代を区切りますが、飛鳥時代以降は、渡来人が多く移住し、平城京のような都城が形成され、天皇を頂点とする律令国家体制が完成し、駅路が整備されるなど、それまでの生活のスタイルが大きく変わった時代です。時代区分にかかわらず、ひとつの時代の中でも言語は大きく変化しています」。新沢教授の著書のタイトルにもそうした見方が表れています。

平安時代に書かれた万葉集の写本（桂本）の複製。講義やゼミでは一文字一文字検討が重ねられます

教授が2017年に上梓した「万葉歌に映る古代和歌史―大伴家持・表現と編纂の交点」（笠間書院刊）。そのタイトルにも表れています

自分なりの研究法を模索

古代日本語にもともと興味があった新沢教授。「学生時代、在籍した大学には上代文学を専門とする先生がおらず、古代語学や平安和歌の授業を通して、自分なりの研究方法を模索しました。孤独でしたが、自分の立てた見通しに資料が応えてくれる、その面白さの虜になりました」と語ります。

日本文学科には各時代を専攻する教員が揃い、各時代のゼミもあり、図書館や仏教文化研究所などの環境にも恵まれ、教員も学生を教えるというだけではなく、一緒に研究しているスタンスがあると感じている教授。「この大学では学部の４年間で十分学問に触れることができます」

講義やゼミも、教授が研究するきっかけとなった「自分で発見することの面白さ」を学生が実感できるように意識しながら進めています。

演習では、日本語学の手法を用いて本文を読む訓練をします。「結ふ」の語を例にあげると、資料や文献にあれば「草」や「髪」などの細長い線状の物との関わりが確認できます。それと「結ぶ」の対象語との違いを比較して、辞書に載らない意味用法を発見します。それを文脈に戻せば新たな解釈が生まれます。言葉の研究においては、学生でも、辞書や教員よりも詳しい専門家になることが可能です。「経済学のような学問では学説や学史を越えることは難しいですが、文学研究では、資料の言葉に耳を傾け、忠実に記述し、客観的に捉えることを徹底すれば、新しい発見を得ることは難しいことではありません。高校までの学習と違い大学の学問で大切なのは記憶力ではありません。自分で徹底して考え、面白いと思える。そんな感覚を学生につかんでほしいのです」

古典文学を研究する意義

「万葉集の科学的な研究は江戸時代から盛んになりますが、それ以前にも、鎌倉時代の天台僧、仙覚の万葉集注釈にその萌芽が見られます。梵字を学ぶ過程で悉曇（しったん）学という学問から古代日本語の音韻のシステムを把握していった仙覚の研究はそれ以前と一線を画すものでした」

現在は平安期以降の万葉集享受について対象を広げ、昨年度から研究分担者として参加している「万葉集仙覚校訂本の総合的研究―成立過程・校訂の方法・享受の様相の解明―（共同研究）」は、日本学術振興会の科学研究費助成事業基盤研究（B）にも採択されるなど、その研究はさらに注目を集めます。

「何が答えか、何が正しいかという判断は、時代や地域、環境によって揺らぎます。一人の人の過ちを世論と一緒になって責めることは簡単ですが、そこに至るまでの過程や、それが果たして絶対的に悪なのか、そこまで考えを及ぼすことができるのが、大学で文学に触れた人間の強みです。学問的体験とそこから得たものの見方や考え方は後の人生に影響します。学生は日本文学科の４年間でそうした想像力を身に付け卒業していきます」

「個性的なテーマに取り組む学生も多い」と新沢教授。悩みながらも真剣に考えて、卒論執筆後は皆、驚くほどの成長を遂げます

学習アドバイザーが皆さんの大学生活をサポート

大学院生が学習アドバイザーとして、学部生の相談や質問を受け付けています。

図書館の利用法やレポートの書き方はもちろん、進路を考えたゼミの情報やパソコンの使い方、大学生活のことまで、教授や大学のスタッフに相談しにくいことも、先輩が学部時代の経験を生かして、学生目線でアドバイスします。

平日の午後、曜日ごとに交代で、図書館のエントランス奥で待っています。気軽に声を掛けてください。(月・火・木・金曜日／15:00～19:00)

※木曜日は歯学研究科大学院生が担当します。

月曜日担当

文学研究科
ドキュメンテーション専攻１年
井上（いのうえ） 美紀（みき）さん
出身校：横浜修悠館高等学校（神奈川県）

パソコンの基本操作や発表の資料も

図書館に興味がありドキュメンテーション学科に入学、大学院へ進学しました。司書になることが目標です。論文は公共図書館における障害者サービスをテーマにしています。視聴覚障害者等の印刷物を読むことが困難な人のためのデジタル図書(マルチメディア・デイジー図書)というものがあり、これを公共図書館に普及させたいと考え、学部時代から研究や活動をしています。

ブランクがあると司書の試験は受からなくなるので、去年から続けて受けています。筆記試験はいくつか合格しましたので、公務員試験の情報提供は多少できます。パソコンの基本的な操作やパワーポイントを使った発表用のポスター制作もお手伝いします。

新入生の皆さんへ

卒論のテーマは、日本に在留する外国人への読書サポートから始まりでした。これは２年生のフランス語の授業時に、加川教授からお聞きした学生ボランティアに関するお話しがきっかけです。４年間は長いようで短いです。積極的に情報を集め、鶴見大学でしかできないことをたくさんやってください。

火曜日担当

文学研究科
日本文学専攻２年
海野（うみの） 亜理沙（ありさ）さん
出身校：大崎高等学校（東京都）

レポートの書き方や文献探しはお任せください

教師を目指していますが、知識を身につけ、教える技術を磨きたいので、教員専修免許を取得したいと大学院に進学しました。

学部時代は中古の文学、源氏物語を専攻し、今も日本文学を主体に学んでいます。大学院では演習科目が多いので、問題意識を持って研究に取り組むことが多くなりました。今までとは違って、写本や古い本に触れる機会が多く、本文だけでなく本自体も調べる機会があり面白いです。

教職を目指しているので、学習アドバイザーで教える立場を経験できることが将来の役に立つと思います。全部が全部できるとは思えませんが、お互い勉強になるように進めていきたいと思っています。

新入生の皆さんへ

４年間は短いです。課外活動にしても就職活動にしても、計画が大切です。具体的に進めるには情報が必要。先輩のアドバイスがあってこそ。そんな時に私たちアドバイザーを頼ってください。レポートの書き方や日本文学の学習でどんな文献を使うかは、任せてください。

金曜日担当

文学研究科
文化財学専攻１年
永見（ながみ） 達也（たつや）さん
出身校：秦野曽屋高等学校（神奈川県）

皆さんと一緒に学ぶスタンスでお手伝いします

研究者になりたくて、大学院に進学しました。歴史なら何でも好きで、歴史をさまざまな角度から学べるので文化財学科で学びました。卒論では地元(平塚)の研究がしたかったので中世室町時代の鎌倉府、扇谷上杉家をテーマにしましたが、先行研究が少なく資料集めに苦戦しただけでなく、新たな課題が見つかり、大学院で取り組んでいます。

小池教授のご紹介で江戸東京博物館でアルバイトをしています。室町戦国時代のことは勉強してきたので、古文書の読解も相談に乗れます。他の分野は自分がアドバイスできる立場かなとも思いますが、知らない分野でも自分から興味を持って、一緒に学ぶスタンスでいきたいと思います。

新入生の皆さんへ

学部時代を振り返ると、自分の目標を見つけられると、メリハリのある有意義な大学生活が送れます。１年生の時は多少遊んでもいいかもしれませんが、もうちょっと早く目標が見つけられていたらよかったと自分でも感じています。学部時代は積極的にいろいろな人と出会って、話を聞いてみるといいと思います。

お知らせ　鶴見大学教育振興支援寄附金　ホームページからのお申込み受付中です

建学の精神「大覚円成 報恩行持」にもとづき、宗教的信念のある有為の人材を育成する教育をおこなうべく「鶴見大学教育振興支援寄附金」を募集しております。いただいたご寄附は、学生のキャリア活動、学内外におけるボランティア等課外活動の支援や、施設・設備の充実のため、活用させていただきます。

昨年から、鶴見大学公式ホームページでご寄附のお申込みが可能になりました。クレジットカード決済、コンビニエンスストア決済がご利用いただけます。また、従来通り、専用振込用紙でのご寄附も受け付けております。

寄附金募集の趣旨にご賛同いただき、多くの皆様に特段のご支援を賜りますよう、衷心よりお願い申し上げます。

【ご寄附のお申込みについて】

鶴見大学公式ホームページ(https://www.tsurumi-u.ac.jp/site/kifu/syui-kojin.html)より、必要事項をご記入のうえ、お申込みください。

専用振込用紙のご請求は、下記問い合わせ先へご連絡くださいますようお願いいたします。

【お問合せ先】

鶴見大学総務部総務課
TEL：045-574-8627
MAIL：somu-kifu@tsurumi-u.ac.jp(寄附専用メールアドレス)

就職EXPRESS

就職活動年間スケジュール

※日程および内容は予定であり、変更になる場合があります。

文学部

1・2年生

4月	●年度始めオリエンテーション ●キャリアガイダンス

3年生

4月	●年度始めオリエンテーション　●教員採用試験説明会 ●進路(就職)登録カード提出
5月	●就職ガイダンス①　●教員採用模擬試験
6月	●SPI対策講座①　●教員採用試験対策講座 ●自己PR作成講座　●学芸員就職対策講座
7月	●保護者向け就職説明会
9月	●就職ガイダンス② ●公務員試験対策講座(有料・9～12月) ●就活筆記試験対策講座(有料・9～12月)
10月	●企業就職特別講座　●SPI対策講座② ●業界職種研究入門講座
11月	●内定者による就職活動体験報告会　●面接対策講座 ●SPI対策講座③ ●就活スーツ着こなし講座＆就活メイク講座 ●就職ガイダンス③(履歴書・エントリーシートの書き方)
12月	●企業の人事担当者による業界職種研究講座 ●保護者向け就職説明会　●インターンシップ説明会 ●司書就職対策講座　●就職活動用履歴書写真撮影
2020 1月	●企業人事担当者による集団模擬面接 ●就職ガイダンス④
2月	●特別ガイダンス
3月	●第1回学内合同企業説明会

4年生

4月	●年度始めオリエンテーション
6月	●第2回学内合同企業説明会
7月	●第3回学内合同企業説明会
9月	●第4回学内合同企業説明会

短期大学部

保育科

1年生

4月	●年度始めオリエンテーション
10月	●就職ガイダンス① ●進路(就職)希望調査①
12月	●就職ガイダンス②(就職内定報告会) ●保育士就職模擬試験 ●短大用就職模擬試験(一般常識テスト・作文)
2020 3月	●公務員試験受験対策講座(有料)

2年生

4月	●年度始めオリエンテーション ●企業就職者向けガイダンス ●就活スーツ着こなし講座＆就活メイク講座
5月	●就職ガイダンス③ ●保育士就職模擬試験・幼稚園教諭専門試験 ●保育士作文添削 ●就職活動用履歴書写真撮影 ●公務員試験受験対策講座
6月	●就職ガイダンス④
7月	●就職活動対策講座 ●進路(就職)希望調査②
8月	●履歴書書き方講座 ●個人面談・履歴書個別指導開始
9月	●就職ガイダンス⑤(最終回) ●進路(就職)希望調査③(最終)
12月	●内定者向けガイダンス

歯科衛生科

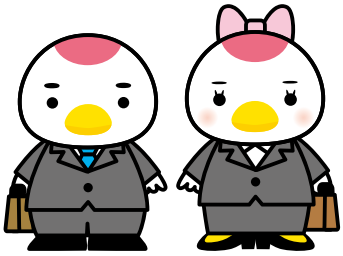
1・2年生

4月	●年度初めオリエンテーション ●一般常識テスト模擬試験 ●就職作文添削

3年生

4月	●年度初めオリエンテーション ●一般常識テスト模擬試験 ●就職作文添削 ●「人生と職業」(授業)4～7月 外部講師によるキャリア講座 自己分析・履歴書の書き方講座 就職マナー講座
5月	●各種模擬試験開始
6月	●就職活動用履歴書写真撮影
7月	●求人票公開・就職活動開始

※3年生開講の「人生と職業」はキャリア・就職支援の教科で必修科目です。



※面接・グループディスカッションのレッスンはキャリア支援課で随時受付(予約制)しています。

4年生の就職活動はあきらめず、ねばり強く！

キャリア支援課は皆さんを全力でサポートします。

最新の求人情報の提供や、内定を勝ち取るためのアドバイスをしますので、積極的にキャリア支援課を活用してください。また、採用試験を受けた方は、その結果を必ずキャリア支援課へ報告してください。

キャリアアドバイザーが相談に応じます！

キャリア支援課にはキャリアアドバイザーを配置しており、就職相談はもちろん、将来の「なりたい自分」について一緒に考えます。早い時期から「なりたい自分」を見つけることは学生生活や就職活動をより有意義なものにします。学年は問いませんので、ぜひ相談に来てください。皆さんの進路・就職を全力で応援します！

3年生が今やるべき就職活動の準備

就職活動は早くからスタートを

「なぜ就職するのか？」就職したい理由や就職に対する考えを、一度整理しておきましょう。

内定のカギを握る就職活動のポイントを紹介します。

●キャリア支援課とコミュニケーションをとろう

キャリア支援課を積極的に活用することで、志望業界などの情報や、各種求人情報を得ることができ、就職活動を有利にすすめることができます。もちろん、家族とのコミュニケーションも忘れずに！

●必ず掲示板で確認しよう！

掲示板(記念館1階)には就職ガイダンスなどの情報が掲示してあります。見落としのないようにしっかり確認しましょう。

●ガイダンスや就職特別講座には必ず出席しよう

外部講師や内定を獲得した先輩から、就職状況や就活体験談などを聞けるチャンス。就職への意識高揚と準備のために、必ず出席しましょう。

●夏休みを有意義に使おう

インターンシップや夏休みにしかできない旅行・ボランティア活動など、積極的に取組みましょう。自分を見つめ直す機会となり、自身の成長につながるだけでなく、面接試験時のアピールポイントにもなります。

INFORMATION ～ インフォメーション ～

大学からのお知らせ

保健センターより

学生定期健康診断未受診の学生へ

定期健康診断を受診していない学生は、必ず保健センターへ申し出てください。

卒煙教室について

2020年鶴見大学は敷地内全面禁煙となります。保健センターでは、歯学部附属病院内科と連携し、卒煙教室を開催しています。たばこをやめたい学生には無料でニコチンパッチを配付しますので、是非参加してください。また、たばこの煙に含まれる有害物質である一酸化炭素量の測定や肺年齢も測定できますので利用してください。

健康・メンタル相談について

医師、看護師、臨床心理士が健康・メンタル相談に応じています。気軽に利用してください。

2020年4月から鶴見大学は敷地内全面禁煙となります。

鶴見大学における受動喫煙の防止及び敷地内全面禁煙に向けた取組に関する指針（抜粋）

目　的

この指針は、健康増進法（平成14年法律第103号）第25条に規程されている趣旨を踏まえ、鶴見大学（鶴見大学短期大学部及び鶴見大学短期大学部附属三松幼稚園を含む。以下「本学」という。）における受動喫煙の防止及び敷地内全面禁煙に向けた取組みに関し必要な事項を段階的に定め、本学の教職員の労働上の公平公正性を担保し、学生及び教職員の健康増進の実現を図ることを目的とする。

基本方針

(1) 本学は、敷地内全面禁煙の完全実施（実施日：2020年4月1日）に向けて、禁煙対策及び受動喫煙防止対策を推進していく。

(2) 教職員及び学生等は、本学が講ずる敷地内全面禁煙並びに受動喫煙防止に向けた取組みに係る対策に協力するものとする。

(3) 学生に対して、在学中に喫煙習慣を身につけない環境を提供していく。

父母会総会・教育懇談会等のお知らせ

今年度の父母会総会は、下記の日程で開催いたします。開催の御案内は、別途往復葉書にて郵送いたしますので、出席の有無を返信用葉書にて6月21日（金）までに御返送ください。

日　時：7月6日（土）午後１時より
場　所：本学記念館地下2階記念ホール
議　題：2018年度決算報告
2019年度予算審議並びに役員改選等

※父母会総会終了後は、各学科に分かれて教員との教育懇談会・個人面談・歯学部後援会総会等の諸行事を開催いたします。

なお、文学部・短期大学部の保護者の方を対象として、当日の午後12時15分より就職説明会を開催し、教育懇談会終了後には、個別就職相談会を開催いたします。

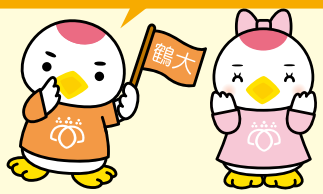
精霊祭（しょうれいさい）のお知らせ

来る7月5日（金）午前11時から、精霊祭が大本山總持寺大祖堂で行われます。この精霊祭では学園関係物故者（もっこしゃ）の御霊（みたま）のご冥福を祈り、例年、多くのご遺族、教職員及び学生が参列し、焼香を行います。本学発展のためにご尽力された方々への哀悼の意を表すために、ご参列ください。

OPEN CAMPUS オープンキャンパス2019

全学科同時開催・申込不要・入退場自由

受験生と保護者の皆様を対象とした「オープンキャンパス」を開催いたします。皆様お誘い合わせのうえ、どうぞ奮ってご参加ください！



5月26日（日）	13:00～16:00（15:00受付終了）
6月23日（日）	13:00～16:00（15:00受付終了）
7月14日（日）	10:00～15:00（14:00受付終了）
8月 4日（日）	10:00～15:00（14:00受付終了）
8月25日（日）	10:00～15:00（14:00受付終了）
9月29日（日）	13:00～16:00（15:00受付終了）

歯学部一日体験入学 要申込
8月31日（土） 10月6日（日）

※大学案内パンフレット・2019年度入試問題（縮刷版）を無料配布いたします。また、7月14日より、2020年度募集要項（願書）を無料配布いたします。

本学のオープンキャンパスは、**毎回実施プログラムとスケジュールが異なります！**

来るたびに新しい発見を得られる鶴見大学・鶴見大学短期大学部のオープンキャンパス。
プログラムの詳細は、随時ホームページにアップします！

実施内容

- **学科紹介・入試説明**
- **短期大学部AO入試説明会**
  短期大学部AO入試の受験を希望する方は、当説明会への参加が必要です。
- **模擬授業**　**個別相談**
- **キャンパスツアー**
- **学食体験**（7月・8月限定）
- **女子学生寮見学ツアー**（7/14・8/4限定）

など

横浜
鶴見大学
鶴見大学短期大学部
Tsurumi University　Tsurumi Junior College

ホームページURL **https://www.tsurumi-u.ac.jp**

各種お問い合わせ先

●授業、成績、各種届出などに関すること	文学部教務課	☎045-580-8212
	短期大学部教務課	☎045-580-8322
	歯学部教務課	☎045-580-8203
●奨学金、課外活動、通学証明書、学割などに関すること	学生支援課	☎045-580-8217
●キャリア・就職支援、求人申込などに関すること	キャリア支援課	☎045-580-8225
●入試情報、オープンキャンパスなどに関すること	入試センター事務室	☎045-580-8219
●健康に関すること・健康診断について	保健センター	☎045-580-8283
●歯学部附属病院に関するお問い合わせ		☎045-580-8503
初診のお問い合わせ	初診科	☎045-580-8540
●広報について	総務課	☎045-574-8627